

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	02	06	0401	交通安全環境整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	1	道路環境の充実			
目的	歩行者の安全確保					
対象	道路利用者、市民					
意図	安全に安心して通行できるようになる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
【24年度】 ・歩道整備工事 558m（亀ヶ森1号線工事・若葉町天下田線工事・上町成田線工事・二枚橋駅前線工事）4路線 ・電線共同溝 280m（上町成田線）1路線 ・視覚障がい者誘導表示設置工事 100m（西大通り根岸線）1路線						
【25年度】 ・歩道整備工事 260m（若葉町天下田線工事・上町成田線工事）2路線 ・融雪設備 280m（上町成田線）1路線						
【26年度】 ・歩道整備工事 543m（上町成田線（桜町）工事、吹張町城内線、四日町山居線）3路線 ・融雪設備 一式（上町成田線）1路線						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	当該年度の歩道整備工事発注件数	件	計画	6	5	
			実績	6	5	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	歩道整備率（H25～H29：全3,016m）	%	目標	9.0	19.0	
			実績	9.0	21.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 平成25年度から平成29年度の5カ年の歩道整備計画延長を基に、それに対する各年度の歩道整備完了予定延長の割合を目標値として設定する。 歩道整備率＝歩道整備完了延長／歩道整備計画延長（5カ年：3,016m）		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・公共施設である道路の整備であるため妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・現況の道路敷地内で有効的に歩道整備、段差解消を実施しているため、予算内での更なる向上は困難である。 ・今後も歩道整備等の要望に応えるため、現在の取り組みを維持し、事業を継続する必要がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・歩道整備は、用地取得せずに現況道路敷地内を有効活用するなど工夫して経費の節減に努めている。 ・積算、施工管理に係る事務経費の適正な遂行に必要な、最低限の事務を行っている。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・市道の整備であり、地域住民に限らず不特定多数が利用することから、市が整備するものであるため受益者負担は公平、公正である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・市道整備は道路管理者である市が行うものであり、現況道路敷地内を有効活用するなど工夫して歩道整備を進め、コスト縮減等に努めている。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	08	02	06	0401	交通安全環境整備事業

単位：千円				
	25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	180,876	219,591		38,715
財源内訳	国・県	113,999	86,492	△ 27,507
	地方債	32,300	51,600	19,300
	その他		45,319	45,319
	一般財源	34,577	36,180	1,603

事業期間	○ 単年度繰返	■ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

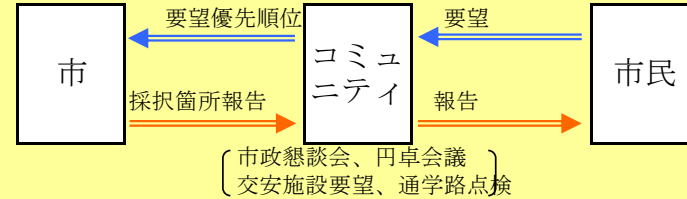
事業開始の背景・経緯
歩行者の安全確保のため、歩道の新設、バリアフリー化を実施している。現在は各地域、障がい者団体等の要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

事業概要
【24年度】
・歩道整備工事 558m（亀ヶ森1号線工事・若葉町天下田線工事・上町成田線工事・二枚橋駅前線工事）4路線
・電線共同溝 280m（上町成田線）1路線
・視覚障がい者誘導表示設置工事 100m（西大通り根岸線）1路線
【25年度】
・歩道整備工事 260m（若葉町天下田線工事・上町成田線工事）2路線
・融雪設備 280m（上町成田線）1路線
【26年度】
・歩道整備工事 543m（上町成田線（桜町）工事、吹張町城内線、四日町山居線）3路線
・融雪設備 一式（上町成田線）1路線

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・工事の計画、設計は説明会の開催等により地域住民の意向を十分捉え、ニーズに応える。
・計画、設計に対する発注者側の精度を上げるため、最適工法、新技術、コスト削減策に対する情報収集（インターネット、情報誌、研修会等の活用）に努める。
・要望路線の内容を見極めるため、現地踏査により現地を把握し必要性を再確認して地元協議等に取り組み、有効的に路線整備を進める。

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 筑後貴之 内線 574
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【24年度】

- 交通安全施設整備 6路線
(上町成田線・亀ヶ森1号線・若葉町天下田線・西大通り根岸線・烏森北中線
・二枚橋駅前線)
事業費 147,600千円
委託料 18,200千円
工事費 124,400千円
用地費 0千円
補償費 5,000千円

【25年度】

- 交通安全施設整備 11路線 事業費 180,876千円
(上町成田線・吹張町滝ノ沢線・上小舟渡方八丁線・上台朝日橋線・吹張町城内線・本丸線・烏森北中線・四日町山居線・駅前南線・上町成田線・若葉町天下田線)

【26年度】

- 交通安全施設整備 13路線 事業費 219,591千円（うち繰越分 8,006千円）
(上町成田線[4箇所]・吹張町滝ノ沢線・上小舟渡方八丁線・烏森北中線・上台朝日橋線・南新田西線外・駅前南線・本丸線・吹張町城内線、四日町山居線)